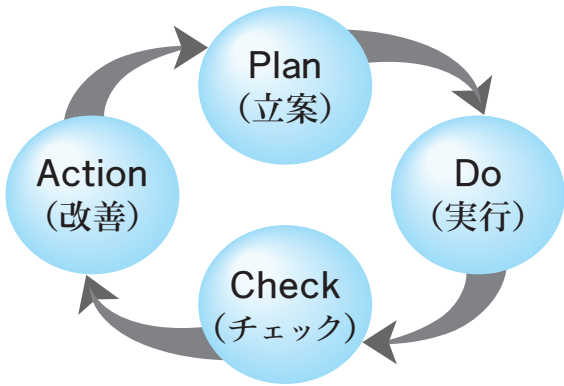


一般的なPDCAサイクル

- P…Plan(計画の立案)
- D…Do(計画の実行)
- C…Check(計画の達成状況と問題をチェック)
- A…Action(問題の改善と対策を検討)



**Q** 第5次総合計画の実効性担保は

**A** 実施計画を策定して担保する

田口 幸央 議員

**質問一** 57の基本施策間の整合性について。  
**二ア** 予算の裏付けが不可欠だが、複数年予算的な考え方はあるのか。  
**イ** その場合の課題について。  
**答弁一(市長)** 第5次鶴ヶ島市総合計画の策定に当たっては、関係各課の連携協力のもと、政策・施策の方向性を検討する初期の段階から、計画の実施段階における活動と、その成果を想定して作業を進めてきた。その結果、自分たちの手で作り上げた、より参加意識の高い総合計画を策定することができたと考えている。

根拠に政策・施策に対応した5年間の複数年予算を編むことはない。  
**イ** 複数年予算の編成については、地方自治法上の制約がある。そのため、事業の具体的計画とその財源を示した実施計画を策定して事業の実効性を担保する。この実施計画は、柔軟な施策展開を図るための計画であり、行政改革を常に意識したローリング型の計画として策定する。

◎**その他の質問** 事業仕分けについて

**Q** 鶴ヶ島市の道路行政について

**A** 道路交通環境の整備に努める

高橋 剣二 議員

**質問一** 共栄一本松線の進捗状況と今後の見通し及び用地取得の見込みについて。  
**二** 富士見通線東武東上線アンダー付近の交通渋滞について。

**答弁一(市長)** 道路事業として行う約590㍓の区間の用地買収率は98・6㍓であり、若葉駅西口土地区画整理事業区域内の約220㍓の区間は、仮換地指定により約70㍓の用地を確保した。

- 三** 共栄間線の進捗状況は。
- 四** 市道の舗装修繕の状況は。
- 五** 市内道路のバリアフリー化は。

**二** 埼玉県公安委員会と協議し、交通渋滞の緩和に努めていく。

- 三** 本市分の約170㍓は、道路用地を確保している。今後も、坂戸市と連携を密にとり整備を推進していく。
- 四** 市の財政状況を見ながら計画的に修繕工事を行っていく。
- 五** 現在は、市役所通りの段差解消の歩道整備工事を行っている。また、危険な交差点等については、警察と現場診断を行い、早期に安全対策を実施してきた。子どもや高齢者などをはじめ、すべての方々が安心して安全に通ることができる道路交通環境の整備に努めていく。



市役所通りの歩道整備工事